

49高校 研究成果を発表

愛工大でサイエンス大賞

中部地方の高校生が愛知、岐阜、静岡、長から続け、今年は発電科学やものづくりの分野の四十九校、五十量が安定してラジオや研究成果を発表する「Aハグループ」が参加し、時計を動かせるようにITサイエンス大賞」五分間の発表とパネル展示で研究内容の独自性（中日新聞社共催）が性をアピールした。

愛知工業大八草キャンパスであった。ものづくり部門で優秀賞に輝いた瑞陵高た。

愛工大の主催で、十（名古屋市）は、泥の生物部の二年東田優五回目。自然科学、も中に生息する微生物が介さん（もは「今年このづくり、社会科学・出す電子で電池を製作そはとと思って臨んだの地域づくりの三部門にする研究を発表。昨年で、受賞できて感無量」

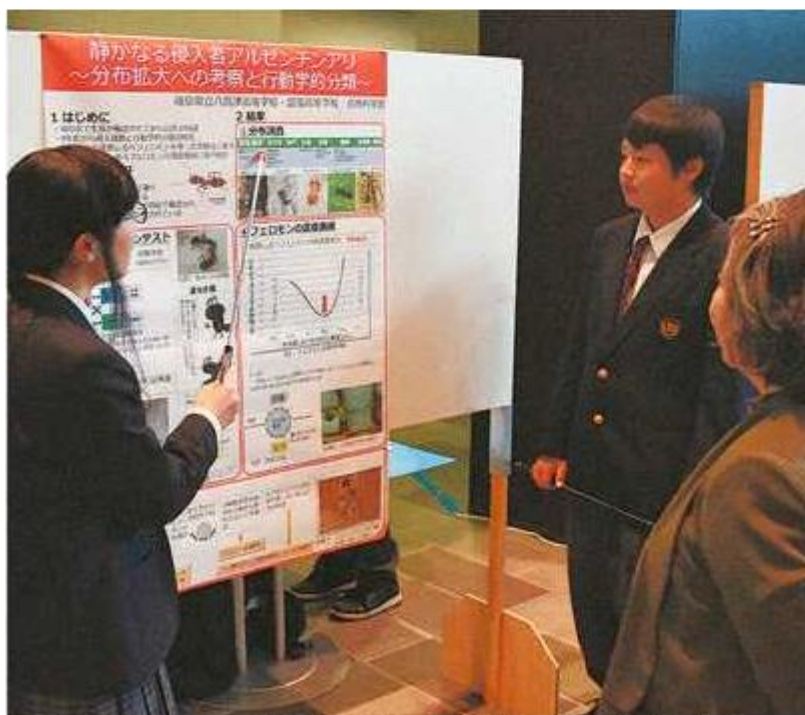
と喜んだ。

（森本尚平）

◇他の優秀賞の受賞校

自然科学部門 刈谷、明

和、岐阜▽ものづくり部門
 岡崎工、愛工大名電A▽
 社会科学・地域づくり部門
 名古屋商、豊橋東、岐山
 （岐阜）



パネル展示で研究内容を紹介する高校生ら＝豊田市八草町の愛知工業大八草キャンパスで